

ひまわり在宅ケアステーション

伊東 久美

功 績	新しい取り組み、ジョブローテーションに積極的に取り組んで訪問介護、通所介護で人員不足解消に貢献した功績
推 薦 者	佐藤俊之
推 薦 理 由	初めての取り組みジョブローテーションを積極的に行い、人員不足への解消・新しい仕組み作りへ大きく貢献した伊東久美さんを理事長賞候補に推薦します。

内 容

今回の理事長賞候補である伊東はひまわり在宅ケアステーションに入職し、5年が経過します。以前は通所介護や訪問介護、施設での勤務経験もあり、様々な業態での勤務を経験されたうえで在宅ケアで勤務されています。

昨年よりひまわりデイサービスセンターで退職者や休職者の方が続けて発生してしまい、いつも人員不足に悩まされている状況が続いていました。そこでどうにか同じグループの組織の中で人員を有効活用できないかを検討した上で考え付いたのがジョブローテーションでした。訪問介護と通所介護、看多機の職員が兼務契約し、どちらの事業所でも働ける仕組みを作り、人が足りないところへ手助けに行く。今回ひまわりでは初めての取り組みだった為、仕組み作りから行い、試験期間を設けて実用開始となりました。そこで推薦されたのが伊東でした。訪問介護も通所介護も経験のある伊藤の力を借り、ジョブローテーションの先駆者として勤務を開始してもらいました。ご本人の意思としても、「通所でも訪問でも看多機でもどこでも勤務できます」という前向きな言葉をいただき、まずは通所介護に慣れてもらうために1カ月程度デイサービスでの勤務を実施。その後ある程度業務内容を覚えたうえで、通所介護が人員的に余裕が出る時間帯に訪問に回ってもらう。最初はスケジュールのやり取りでお互いに連絡の行き違いがありましたが現在ではその仕組みも確立され上手くまわるようになってきました。業態が違う事で経験のない職員では戸惑い、モチベーション低下に繋がりがねない事でしたが、どのような業態でも前向きに取り組める性格と持ち前の明るさ、行動力が今回のジョブローテーションの成功に繋がったと感じています。訪問介護のご利用者、通所介護のご利用者を合わせると約300名以上になります。顔と名前を覚えるだけでも容易ではありませんが短期間で実現できたのは伊東の努力の結晶と思います。また、休日出勤の減少、突然の欠勤などへの対応など、無駄な人件費が削減できたことで通所介護、訪問介護への利益貢献に非常に大きく貢献できました。また、今までは介護職同士の交流も少なく、職員の顔もわからないという状況でしたが、今回のジョブローテーションをきっかけに以前よりも職員間交流が増えたように感じます。今後は兼務できる職員が増やせるように伊東を中心にやりがいをもって前向きに取り組んでいきたいと思っています。